



第  
**33**  
号



盛班 及川精一会員 提供

## 令和3年 大船渡湾口防波堤と初日の出

明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大により、各種行事やイベントなどが中止になるなど、事業実績にも大きく影響があった年でありました。

写真は、盛班の及川精一会員より提供いただきました。大船渡町丸森付近からの撮影で、令和3年1月1日の大船渡湾口防波堤とご来光・初日の出です。

今年も常時マスクの着用、手消毒、三密（密閉・密集・密接）の回避など、徹底しながら、この一年が輝かしい年となりますよう会員及び役職員一致団結して頑張りましょう。今年もよろしくお願ひ申し上げます。



## 新年のごあいさつ

理事長 石山 宣昭

会員の皆さん、明けましておめでとうございます。皆さんにおかれましては、例年とは少し異なる新年をお迎えではないでしょうか。皆さんにとって、今年こそが健康で、幸多い一年、しかも普通の一年になるよう、心からお祈り申し上げます。

当センターの運営につきましては、平素から市当局を始め、関係機関・各事業所や市民の皆さんからの多大なる御理解と御協力を賜っております。この紙面をお借りして、心から御礼を申し上げます。

さて、去年は世界中の人々が、これまで経験しなかった生活を余儀なくされ、その影響は医療・福祉・商工関係者など、至る所に大きなひずみをもたらしました。当センターにもその影響は及び、事業実績に関しては、これまでにない程の落ち込みに見舞われました。

しかし、幸いなことに、地域の皆さんからのニーズは途切れることなく、何とか踏み止まることが出来そうです。これも偏に皆さんの不断の御努力に依るものと感謝申し上げます。

当センターでも、去年は人との接触を避けるべく、例年行ってきた様々な事業を見合わせました。会員の皆さんと直接お会いし、お話をお聞きする機会が減ってしまったことは、大変残念なことでした。皆さんにとっても、会員さん同士で顔を合わせ、話す機会が失われたことは、残念だったのではないのでしょうか。新しい年が来たからと言って、以前のような生活に戻ることは予想出来ず、当分は「新しい生活様式」を守るしか、自己防衛の術はないように思われます。

これまで経験しなかった生活と言えば、今年は東日本大震災から10年の大きな節目を迎えます。港の近くに有った当センターも大きな被害を受け、現在の地に移転したわけです。震災直後から、近隣の人材センターはもとより、全国各地、県内各地からの温かな御支援を頂戴しました。現在の当センターが維持出来たのは、会員の皆さんは元より、こうした全国各地からの多くの方々の御厚情に依るものと、改めて感謝するばかりです。各地での復興の状況はまだ完成途上の感もしないではありませんが、大きな震災を経験した者として、自然災害への備えは元より、多くの方々から頂戴した温かな思いを次世代に語り継ぐこと、さらには、こうした御縁で繋がった多くの人材センターや多くの方々への感謝の思いを胸に刻みながら、私たちが出来ること、地域貢献や社会貢献などに積極的に関わっていきたくと考えております。

今年の干支は「辛丑」だそうです。「辛」は痛みを伴う幕引きを、「丑」は殻を破ろうとする命の息吹を意味すると言われていたそうです。こうした年だからこそ、「希望の持てるセンター」づくりに、会員の皆さんと共に取り組んでまいりたいと思います。また当センターでの活動が、これまで以上に、皆さんの心を熱くし、安心して活躍できる居場所になることを心から願っています。

幸い、当センターには、皆さんと一年の目標を共有するための「Action Plan」が、さらには昨年策定した持続可能な目標である「中・長期経営計画」が有ります。今年は各項目に掲げた「努力目標」の達成のために、皆さんのお力をお借りしながら、取り組んで行きたいと思っています。

「希望」の持てる一年にするために、皆さんと思いを共有し、手を携えながら、歩んで行きましょう。これまで多くの先輩たちが築き上げてきた当センターの財産である「人と人との結び付き」を、一層強いものにするためにも、本年も御協力の程をお願い申し上げます。また、生命に関わる新型コロナウイルス感染予防対策の徹底にも、くれぐれも御留意なされますよう重ねてお願い申し上げます。

## 令和2年度定時総会・縮小しての開催

令和2年度定時総会が6月10日に大船渡アーバンで開かれましたが、新型コロナウイルス感染症防止のため出席者を限定し、全員マスク着用、更に開催時間も短縮しての開催となりました。

現役員及び各地域から1名の計20名の出席となりました。(実際は当日出席20名、委任状出席211名、計231名出席)

石山理事長のあいさつのあと、永きに亘り事業発展に貢献された役員2名、会員14名の名前を読み上げ、後日表彰状を届けることとしました。また、五大事業参加者32人に対しても記念品を贈呈することとしました。

議長には、立根4班の新沼勝寛氏を選出し議事に入り、全議案承認されました。

役員改選については、理事10名、監事2名が選任され、その後の理事会で理事長に石山宣昭さん、副理事長に山口惇さんが選任されました。

例年であれば、その後会員互助会総会、大懇親会が開催していましたが、今回はコロナ感染防止のため中止としました。



石山理事長あいさつ



少人数での出席です。

## 地域懇談会開催される

令和2年1月29日から2月6日まで市内8会場で計128人の会員が出席して意見交換を実施しました。



大船渡南班



猪川班



立根班

## 地域貢献・ボランティア活動

令和2年度もコロナ禍のなか、ボランティア活動を実施しました。シルバー会員による社会参加活動での地域貢献は、センター事業の柱でもありますので、今後も継続して取り組んでいきましょう。



福祉の里センター



吹アスボール



盛班 (盛小児童といっしょに)



大船渡北・中・南班合同



末崎班



赤崎1・2班合同



猪川班



綾里班

## 楽しかったお茶っご会!

令和2年2月4日から3月6日（ひなまつり会）の2回、女性会員対象のお茶っご会が夢ハウスで開催されました。みんなで食事をしたり輪投げゲームなどして楽しく過ごしました。



おいしいごちそうもあり。



いい笑顔ですね。



輪投げで楽しみました。

# 新年の抱負

丑年生まれの方から新年の抱負等お願いしました。



01. 今年の抱負 02. 健康の秘訣 03. シルバーに入会した動機  
04. 趣味 05. 今、一番楽しいこと

大船渡南班



佐々木 喜一

- 1 家族と共に健康第一。何事にも挑戦する年にしたいです。
- 2 規則正しい生活を送るよう心掛ける。
- 3 庭いじり・盆栽が好きだったのと、58歳の時に兄の黄川田弘男に勧められて。
- 4 盆栽や小鳥を育てること。シルバーでのグラウンドゴルフや日帰り旅行。
- 5 孫の長女の琴音、長男の健心、次女の雪羽3人の成長です。春になったら野菜づくり。

赤崎班



広 沢 弘 平

- 1 認知症にならないようにする。
- 2 毎日、ラジオ体操
- 3 知人の紹介
- 4 毎日、何か仕事を探し、一日を終わらせる。
- 5 友人（同級生）と語ること。



猪川班



片 山 実

- 1 1年間健康に暮らす
- 2 良く眠ること
- 3 先輩に誘われて入会
- 4 還暦野球
- 5 野菜や果樹の手入れ

赤崎班



菊 池 茂

- 1 いつも通りへいへいボンボンに前向きに
- 2 秘訣なし。3食しっかりと。酒も毎日。
- 3 退職後、何もしない6年間、これではダメだと思い、たまたま見た新聞の入会説明会広告で。
- 4 カメラを持ち歩くこと。（車にいつも積んである。）
- 5 生まれ里（遠野）に帰り、野菜づくりと山菜取り。



赤崎班



村 上 正 男

- 1 ムリをしないで安全第一を心掛ける。
- 2 ストレスを溜めない事。
- 3 何もしないでゴロゴロしていると不健康だから。
- 4 山菜採り
- 5 プロレス、必殺仕事人を観る事。

立根班



新 沼 利 正

- 1 タバコを控える。
- 2 適度なウォーキング
- 3 先輩からの紹介
- 4 釣り
- 5 北上にいる孫に会うこと。





役員				事務局	
役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	石山 宣昭	理事	中山 和久	事務局長	山本 勝夫
副理事長	山口 惇	〃	菅野 勝子	次長	大和田 喜洋
常務理事	山本 勝夫	〃	岡崎 茂	主事(業務)	菅原 和子
理事	鈴木 ミチヨ	〃	金野 高之	主事(業務)	村上 凌
〃	近江 守	監事	松田 英治	主事(経理)	志田 典子
〃	新沼 幸夫	〃	佐藤 政廣	臨時職員	古澤 文夫

地域班名	地域班長				
	第1班	第2班	第3班	第4班	第5班
盛班	鈴木 一左	大和田良治	中山 和久		
大船渡北班	佐藤 次男	栗村 忠雄	菅野 八郎		
大船渡中班	金野 良平	金野 芳見	湊 利喜夫		
大船渡南班	佐藤 孝雄	新沼 康利		大和田 繁夫	
末崎班	吉田二三男	志田 菊太郎	後藤 芳太郎		
赤崎班	村上 正男	近江 守	田中 政行		
猪川班	新沼 勝雄	吉川 弘	上館 進	菅原 三千男	長山 豊子
立根班	穴戸 喜八郎	上野 昭二	及川 勤	新沼 勝寛	
日頃市班	村田 八重子	佐藤 忠清	大森 孝也		
綾里班	舘脇 照男				
越喜来班	金野 惠逸				
吉浜班	岡崎 茂				

広報部会

- 委員長 近江 守
- 副委員長 山本 勝夫
- 委員 増田 邦夫
- 委員 富谷 英雄
- 委員 鈴木 文男
- 委員 新沼 勝寛
- 委員 村上 清志

編集後記

明けましておめでとうございます。

世の中、昨年からの新型コロナウイルス感染一色の中、一刻も早い終息を願うばかりです。

今回の会報は、行事やイベントが軒並み中止となり、ページ数を少なくしての発行となり、申し訳ありませんでした。

2021、不確実性の年と言われてますが、それでもポジティブに生きたいと思えます。また、広報部会では毎月会員向けシルバーミニ情報も発行しておりこちらの方もご覧いただきたいと思えます。

今年もコロナ対策をしっかりと1年を過ごしましょう。よろしくお願いいたします。

広報部会 部会長 近江 守